学校番号	T1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	メタルクラフト実習	単位数	2単位	年次	2～4年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒自身でデザイン、素材、課題を決定し、はじめから終わりまで創意工夫をし、課題を完成した喜びを体験する。また、生徒自身が使用できる身近なものの製作を通じ、金属加工方法（手仕上げ）について学び、オリジナリティーのある作品制作をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
金属の加工方法や、手仕上げに関する知識と技術を習得し、実践的な場で活用する能力を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】
工業技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、技術者として適切に判断する力を養い、表現する創造的な能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
金属の加工方法および、手仕上げに関する技術の向上をめざし、主体的・実践的に取り組もうとする態度を養い、身につけようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	金属加工においての専門的な知識・技術の習得をめざす。	実習を通して、金属加工における課題を自ら見いだし、解決することを行う。	テーマごとの加工実習において、主体的に取り組み、製作しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

前期	後期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
4月	10月	文鎮の作成	・材料切りだし ・ヤスリがけ(平面) ・すりあわせ(光明丹)	a:正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:平面を出すには、どのような工夫がいるかを考え、表現することができる。 c:文鎮の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
5月	11月	ペーパーナイフの作成	・アイデアデザイン ・デザインの決定 ・ヤスリがけ(平面・刃面) ・ペーパーヤスリがけ	a:正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:平面・刃面のヤスリがけの方法を考え、正しく判断することができる。 c:ペーパーナイフの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
6月	12月	栓抜きの作成	・アイデアデザイン ・デザインの決定 ・ヤスリがけ(穴) ・ペーパーヤスリがけ	a:正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:穴のヤスリがけの方法を考え、表現することができる。 c:栓抜きの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
7月	1月	指輪の作成	・アイデアデザイン ・デザインの決定 ・ろう付け ・ヤスリがけ(細部)	a:正しいろう付けの方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:ろう付けの自らの手で方法を考え、正しく判断することができる。 c:指輪の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
9月	2月	表札の作成	・アイデアデザイン ・デザインの決定 ・叩き出し	a:表札の製作方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:自らの手で方法を考え、正しく判断することができる。 c:表札の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート
		ペンたての作成 (銅版レリーフ)	・アイデアデザイン ・デザインの決定 ・叩き出し ・完成した作品を枠に装着	a:ペン立ての製作方法を知り、実習を通して、技術を高める。 b:自らの手で方法を考え、正しく判断し、表現することができる。 c:ペン立ての製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	・口頭試問	・パフォーマンス課題	・授業観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度